intdash
ユーザーアカウント／エッジアカウント管理マニュアル（管理者用）

Admin Console Version 1.0.0

第 3 版（2022 年 1 月）

aptpod

Rev. ca25823

目次

01 はじめに 3
1.1 推奨環境 3
02 intdash におけるドメイン、ユーザー、エッジ 4
2.1 ドメイン（intdash ドメイン） 4
2.2 ユーザーとエッジ 4
03 Admin Console を開く 7
04 ユーザーアカウントを管理する 9
4.1 ユーザーの一覧を表示する 9
4.2 ユーザーアカウントを作成する 9
4.3 ユーザーの情報を確認する／変更する 10
4.4 ユーザーアカウントを削除する 11
4.5 パスワードを再発行する 12
4.6 パスワードのロックを解除する 12
4.7 ユーザー用の API トークンを作成する 12
05 エッジアカウントを管理する 14
5.1 エッジの一覧を表示する 14
5.2 エッジアカウントを作成する 14
5.3 エッジの情報を確認する／変更する 15
5.4 エッジアカウントを削除する 16
06 トラブルシューティング／よくある質問 17
07 お問い合わせ 18

01 はじめに

このマニュアルでは、intdash ドメインの管理者が、「Admin Console」ウェブアプリケーションを使って intdash のユーザーアカウントとエッジアカウントを設定する方法を説明します。Admin Console を使用できるのは、intdash ドメインの管理者（admin ロールを持つユーザー）だけです。

重要:

- このドキュメントに記載されている仕様は予告なく変更される場合があります。このドキュメントは情報提供を目的としたものであり、仕様を保証するものではありません。
- 説明で使用している画面は一例です。ご使用の環境やアプリケーションのバージョンによって、表示や手順が一部異なる場合があります。

注釈: このドキュメントに記載されている会社名、サービス名、製品名等は、一般に、各社の登録商標または商標です。本文および図表中には、「™」、「®」は明記していません。

1.1 推奨環境

本マニュアルで説明する操作を行うためには、以下のクライアント環境が必要です。

- OS: Windows または macOS
- CPU: Intel 第 3 世代 Core i5 以上
- メモリー: 8GB 以上
- ネットワーク: インターネット接続
- ウェブブラウザー: Google Chrome(最新バージョン)

02 intdash におけるドメイン、ユーザー、エッジ

本章では、intdash を使用する際の前提として、intdash のドメイン、ユーザー、エッジについて説明します。

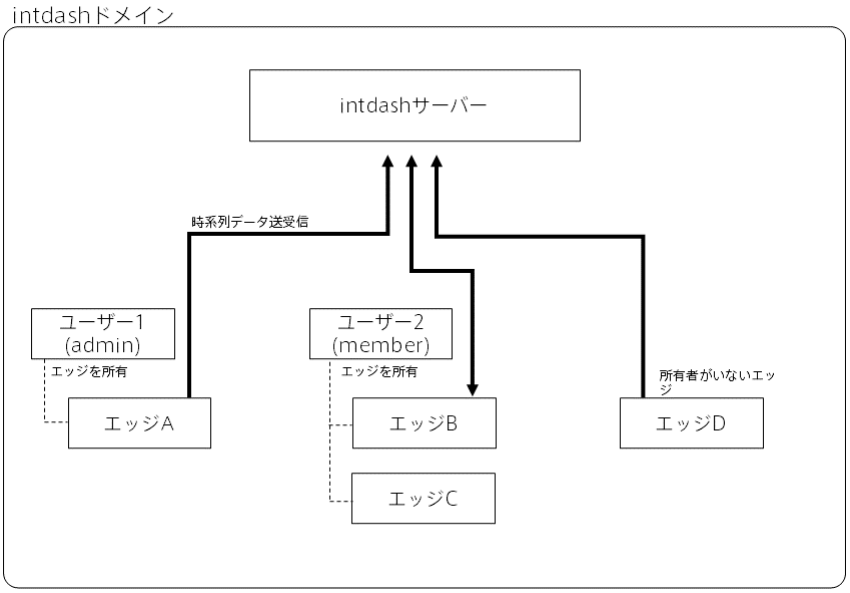

図 1　ドメイン、ユーザー、エッジ

2.1 ドメイン（intdash ドメイン）

intdash サーバーを中心とする、1 つの intdash 使用環境をドメイン（または intdash ドメイン）と呼びます。

intdash サーバーに接続できるのは、そのドメインで発行されたアカウントを持つユーザーとエッジ（データを送受信するデバイス）のみです。

ドメインには、管理者（admin）ロールを持つ管理者ユーザーが 1 名以上存在します。

2.2 ユーザーとエッジ

intdash に接続する存在として、「ユーザー」と「エッジ」があります。

ユーザー

intdash を使用する人を「ユーザー」と呼びます。ユーザーは、主にウェブアプリケーションやモバイルアプリケーションを使って時系列データの閲覧を行います。

エッジ

センサーを使ってデータを取得するデバイスや、遠隔操作されるデバイスを「エッジ」と呼びます。エッジは、時系列データを intdash サーバーに送信したり、intdash サーバーから受信したりします。

intdash を使用するユーザーには「ユーザーアカウント」が必要です。また、エッジには「エッジアカウント」が必要です。

2.2.1 ユーザーアカウント

- ユーザーアカウントは、intdash ドメインの管理者が作成します。
- ユーザーアカウントには admin（管理者）、member（一般ユーザー）などのロールが割り当てられます。
- admin ロールを持つユーザーは、ユーザーアカウントの作成や削除など、他のユーザーを管理する権限を持ちます。通常は、admin と member ロールが存在しますが、使用可能なロールは intdash ドメインによって異なります。
- ユーザーは、エッジアカウントを作成し、所有することができます。

2.2.2 エッジアカウント

- エッジアカウントは、エッジを作成する権限を持つユーザーが作成します。通常、admin ロールのユーザーだけでなく、member ロールのユーザーもエッジアカウントを作成できます。
- ユーザーがエッジアカウントを作成すると、ユーザーはそのエッジの所有者となります。
- エッジアカウントの所有者と intdash ドメインの管理者は、エッジアカウントを編集したり削除したりできます。
- 管理者ユーザーは、エッジアカウントの所有者を変更することができます。また、エッジアカウントに所有者がない状態にすることもできます。

2.2.3 用途によるユーザーとエッジの使い分け

基本的に、時系列データを発生させて intdash サーバーに送信するのは「エッジ」です。また、intdash サーバーから時系列データを受信して動作する物（遠隔操作されるロボットなど）も「エッジ」です。

「ユーザー」は、時系列データの閲覧やダウンロード、エッジの管理を行います。同じドメイン内であれば、自分の所有でないエッジのデータも閲覧することができます。

アプリケーション、SDK	認証（ログイン）に使用するアカウント	使用する認証情報
ウェブアプリケーション Data Visualizer、Meas Hub、Edge Finder など	ユーザー	ユーザー名とパスワード
閲覧用モバイルアプリケーション Stream Video、Stream Monitor、VM2M Viewer	ユーザー	ユーザー名とパスワード
計測用モバイルアプリケーション intdash Motion	ユーザー	ユーザー名とパスワード
intdash SDK for Python	ユーザー	API トークン、またはユーザー名とパスワード（ユーザー名とパスワードは非推奨になる予定です）
intdash Edge Agent、Terminal System	エッジ	クライアントシークレット

重要:

- intdash Motion を使用する際はユーザーアカウントでログインします。ただし、リアルタイムデータの送信はエッジとして行う必要があるため、intdash Motion は特別に「ログインしたユーザーの UUID と同じ UUID を持つエッジ」としてデータを送信します。ユーザーと同じ UUID を持つエッジアカウントが存在しない場合、そのようなエッジアカウントが自動的に作成されます。
  （UUID とは、アカウントを区別する識別子です。UUID は My Page や Edge Finder で確認することができます。）
- intdash SDK for Python を使用する際はユーザーアカウントで認証します。リアルタイムデータの送受信はエッジとして行う必要があるため、Python コード内でアップストリームまたはダウンストリームを作成する際は、どのエッジとして行うかを指定してください。詳細については、intdash SDK for Python のドキュメントを参照してください。

注意: 以前の intdash を使用されていた方への補足

以前の intdash（My Page アプリケーションではバージョン 2.4 まで）と新しい intdash では、「エッジ」の意味が若干異なります。以下の点についてご注意ください。

新しい intdash では、ユーザー（人）とエッジ（デバイス）が区別されます

- 以前の intdash では、intdash に接続する人とデバイスを区別なく「エッジ」と呼んでいました。
- 新しい intdash では、intdash に接続する人は「ユーザー」と呼び、intdash に接続するデバイスは「エッジ」と呼んで、人とデバイスを区別しています。

新しい intdash では、エッジアカウントでウェブアプリケーションにログインすることはできません

- 以前の intdash では、エッジアカウントにパスワードが発行され、エッジ名とパスワードを使ってウェブアプリケーションにログインすることができました。
- 新しい intdash では、エッジアカウントはデバイス専用であるため、エッジアカウントによるウェブアプリケーションの利用は想定されていません。そのため、エッジアカウントにはパスワードは発行されず、エッジ名とパスワードを使ってウェブアプリケーションにログインすることはできません。

新しい intdash では、エッジアカウントの設定は所有者のユーザーが行います

- 以前の intdash では、エッジアカウントを使って My Page にログインすることにより、エッジアカウント自身の設定を変更することができました。
- 新しい intdash では、エッジアカウントの設定は所有者であるユーザーの My Page で変更してください。
  また、admin ロールを持つユーザーは、ドメイン内のすべてのエッジアカウントの設定を変更することができます。

03 Admin Console を開く

注意: Admin Console アプリケーションを使用できるのは、admin ロールを持つユーザーのみです。

1. ウェブブラウザーで、Admin Console アプリケーション（`<ベース URL>/admin`）を開きます。

   ベース URL は intdash ドメインごとに異なります。例えば、お客様の intdash ドメインのベース URL が `https://example.vm2m.jp` の場合、Admin Console の URL は `https://example.vm2m.jp/admin` です。

2. ログイン画面が表示されたら、ユーザー名または登録されたメールアドレスと、パスワードを入力して、[ログイン] をクリックします。

   ご使用の環境によっては、ログイン画面に [テナント ID] ボックスも表示されます。その場合、管理者から指示されたテナント ID を入力してください。テナント ID を空欄にすると、デフォルトのテナントにログインします。

図 2　ログイン

ヒント:

- [次回から自動的にログインする] をオンにすると、次回アクセス時からはログイン情報の入力が不要になります。
- をクリックすることにより、パスワードの表示／非表示を切り替えることができます。

注釈:

- 仮パスワードを使ってログインした場合には、新しいパスワードを設定する画面が表示されます。画面の指示に従ってパスワードを設定してください。
- パスワードを忘れた場合は、[パスワードを忘れた場合] をクリックして、登録済みメールアドレスを入力してください。メールアドレス宛に、パスワードのリセット手順を説明するメールが送信されます。
- パスワードを一定の回数以上間違えると、パスワードでのログインはできなくなります。この場合、正しいパスワードを入力しても、「パスワードはセキュリティロックされています」と表示され、ログインできません。管理者ユーザーのパスワードがロックされた場合は、他の管理者にロック解除を依頼してください。

04 ユーザーアカウントを管理する

4.1 ユーザーの一覧を表示する

Admin Console で [ユーザー一覧] をクリックすると、ユーザー一覧が表示されます。

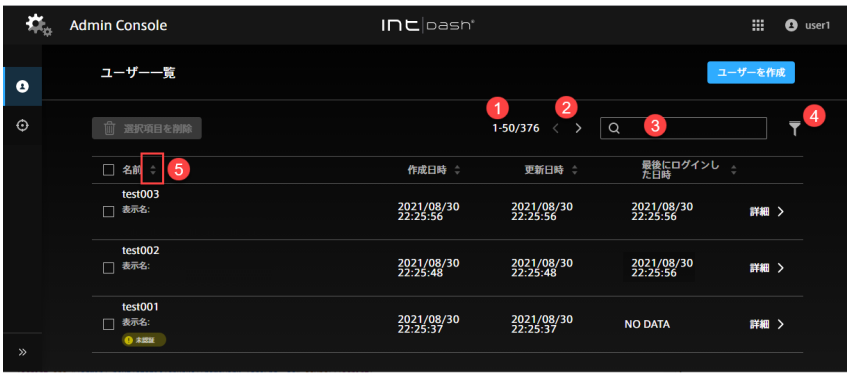

図 3　ユーザー一覧

1. 「このページに表示されているユーザーの数」／「表示対象のユーザーの数」
2. ページ移動
3. 名前での検索（部分一致）
4. 有効化の状態、ロック状態、パスワードの認証状態によるフィルタリング
5. 項目による並べ替え

4.2 ユーザーアカウントを作成する

管理者は、Admin Console でユーザーアカウントを作成することができます。

1. Admin Console のユーザー一覧（`<ベース URL>/admin/users`）開きます。
2. [ユーザーを作成] をクリックします。

図 4　ユーザーの作成

3. 名前とロールを設定します。
   - 名前には、英数字（0-9、A-Z、a-z）、ハイフン（-）、アンダースコア（_）を使用できます。
   - intdash ドメイン内で他のユーザーと同じ名前を付けることはできません。

- ロールには、管理者（admin）、一般ユーザー（member）などを設定します。設定可能なロールは intdash ドメインによって異なります。
- 1 つのユーザーアカウントに複数のロールを設定することができます。
- ユーザーアカウント作成時に設定したロールは Admin Console では変更できません。
- その他の項目の設定は任意です。

6. [作成] をクリックします。

   仮パスワードが作成されます。[コピー] をクリックするとクリップボードにコピーすることができます。

7. ユーザーに、サインイン用の URL（My Page `<ベース URL>/edges/me/` ）、ユーザー名、仮パスワードを安全な方法で通知してください。ユーザーは、初回ログイン時に、新しいパスワードを設定するよう要求されます。

4.3 ユーザーの情報を確認する／変更する

1. ユーザー一覧画面で、確認したいユーザーの [詳細] をクリックします。以下の情報が表示されます。

   パスワード

   このユーザーアカウントのパスワードの状態が表示されます。パスワードの状態は以下の 2 種です。

ステータス	説明
仮パスワード	仮パスワードが発行されています。ユーザーにより新しいパスワードが設定されるのを待っている状態です。
本パスワード	ユーザーによりパスワードが設定されています。

   パスワードを再発行したい場合は、パスワードを再発行する (p. 12) を参照してください。

   UUID

   intdash により自動的に割り当てられた、ユーザー固有の ID です。UUID は変更できません。

   名前

   ユーザーの名前です。同一の intdash ドメイン内で他のユーザーと同じ名前を付けることはできません。

   表示名（任意）

   ユーザーに、分かりやすい表示名を付けることができます。

   説明（任意）

   ユーザーに関する説明を入力することができます。

   有効化

   このユーザーの有効／無効を設定できます。無効にするとこのユーザーはログインできません。

   ユーザーが無効でも、そのユーザーが所有するエッジアカウントは使用できます。エッジアカウントを無効にするには、そのエッジアカウントを削除してください。

   作成日時

   このユーザーを作成した日時です。

更新日時

このユーザーを更新した日時です。

メールアドレス

このユーザーに登録されたメールアドレスと登録のステータスが表示されます。ステータスは以下の 3 種です。

ステータス	説明
未登録	メールアドレスが登録されていません。メールアドレスが登録されていなくても、ユーザーは名前とパスワードを使ってログインすることができます。
未認証	メールアドレスは登録されていますが認証が行われていません。ユーザーは、メールアドレスに送られた確認メール内のリンクをクリックする必要があります。
認証済み	メールアドレスが登録され、メールアドレスによる認証が完了しています。

ロール

管理者（admin）、一般ユーザー（member）などのロールを設定します。設定可能なロールはドメインによって異なります。

> **注意:** ユーザーアカウント作成時に設定したロールは Admin Console では変更できません。

API トークン

このユーザーアカウント用に作成された API トークンについての情報を表示します。API トークンの作成については、ユーザー用の API トークンを作成する (p. 12) を参照してください。

2. 設定を変更したい場合は、編集して [変更を保存] をクリックします。

4.4 ユーザーアカウントを削除する

1. Admin Console の「ユーザー一覧」（ `<ベース URL>/admin/users` ）を開きます。
2. ユーザーの [詳細] をクリックします。
3. [削除] をクリックします。

   ユーザーアカウントを削除すると、そのユーザーが所有していたエッジアカウントは、所有者がない状態になります。管理者は、エッジアカウントの詳細画面で新たに所有者を設定することが可能です。エッジの情報を確認する／変更する (p. 15) を参照してください。

> **ヒント:** 複数のユーザーアカウントを一括して削除する場合は、ユーザー一覧画面で、対象となるユーザーアカウントのチェックボックスをオンにして、画面上部にある [選択項目を削除] をクリックしてください。

4.5 パスワードを再発行する

1. Admin Console のユーザー一覧（<ベース URL>/admin/users）を開きます。
2. パスワードを発行したいユーザーアカウントの [詳細] をクリックします。
3. パスワードの [再発行] をクリックします。
4. [再発行] をクリックしてパスワードをリセットします。

   注釈: パスワードをリセットすると、それまでのパスワードは使用できなくなります。

   仮パスワードが作成されます。[コピー] をクリックするとクリップボードにコピーすることができます。
5. 仮パスワードを安全な方法でユーザーに通知してください。

   ユーザーは、ログインすると、自分で新しいパスワードを設定するよう要求されます。

4.6 パスワードのロックを解除する

intdash にログインしようとして、一定の回数以上パスワードを間違えると、パスワードはロックされます。管理者は、パスワードのロックを解除することができます。

1. Admin Console のユーザー一覧（<ベース URL>/admin/users/）を開きます。
2. パスワードのロックを解除したいユーザーアカウントの [詳細] をクリックします。
3. [ロック解除] をクリックします。

図 5　パスワードロックを解除する

4.7 ユーザー用の API トークンを作成する

intdash SDK によるプログラムを使って、ユーザーとして intdash API にアクセスする場合には、API トークンが必要です。管理者は API トークンを作成することができます。

1. Admin Console のユーザー一覧（<ベース URL>/admin/users/）を開きます。
2. API トークン作成対象のユーザーアカウントの [詳細] をクリックします。
3. [API トークンの作成] をクリックします。
4. API トークンを区別するために名前を入力します（有効期限の設定は任意です）。

5. [作成] をクリックします。
6. [コピー] をクリックして API トークンをコピーし、安全な方法でユーザーに通知してください。

注釈:

- API トークンは、作成時に一度しか表示されません。
- ユーザーアカウントの詳細画面には、作成済みの API トークンのステータスが表示されます。
- ユーザーごとの API トークンの数には制限があります。「残り作成可能数」が 0 の場合は、API トークンは作成できません。
- 各ユーザーは、My Page で自分用の API トークンを作成することができます。

05 エッジアカウントを管理する

5.1 エッジの一覧を表示する

Admin Console を開くと、エッジ一覧が表示されます。

図 6　エッジ一覧

1. 「このページに表示されているエッジの数」／「表示対象のエッジの数」
2. ページ移動
3. 名前での検索（部分一致）
4. フィルタリング（現在のバージョンではフィルタリングはできません。）
5. 項目による並べ替え

5.2 エッジアカウントを作成する

管理者は、Admin Console でエッジアカウントを作成することができます。エッジアカウントを作成すると、認証に必要な UUID とクライアントシークレットが発行されます。

1. Admin Console のエッジ一覧（`<ベース URL>/admin/edges`）を開きます。
2. [エッジを作成] をクリックします。

図 7　エッジの作成

3. 名前を設定します。
   - 名前には、英数字（0-9、A-Z、a-z）、ハイフン（-）、アンダースコア（_）を使用できます。

- 同一の intdash ドメイン内で他のエッジと同じ名前を付けることはできません。
- その他の項目の設定は任意です。

6. [作成] をクリックします。
7. エッジの UUID とクライアントシークレットが表示されたら、それぞれコピーして使用します。

注意: クライアントシークレットは、作成時に一度しか表示されません。

注釈: Admin Console でエッジアカウントを作成すると、そのエッジアカウントは所有者がない状態になります。所有者は後から設定することが可能です。また、名前や表示名も後から変更することができます。エッジの情報を確認する／変更する (p. 15) を参照してください。

5.3 エッジの情報を確認する／変更する

1. エッジ一覧画面で、確認したいエッジの [詳細] をクリックします。以下の情報が表示されます。

   UUID
   intdash により自動的に割り当てられた、エッジに固有の ID です。UUID は変更できません。

   名前
   エッジの名前です。同一の intdash ドメイン内で他のエッジと同じ名前を付けることはできません。

   表示名（任意）
   エッジに分かりやすい表示名を付けることができます。

   説明（任意）
   エッジに関する説明を入力することができます。

   作成日時
   このエッジを作成した日時です。

   更新日時
   このエッジを更新した日時です。

   所有するユーザー
   このエッジの所有者であるユーザーです。所有者は、エッジの名前や表示名を My Page で変更することができます。

2. 設定を変更したい場合は、編集して [変更を保存] をクリックします。

注釈: 所有するユーザーの設定で、[x] をクリックして所有者を削除して変更を保存すると、所有者のないエッジとなります。

5.4 エッジアカウントを削除する

1. Admin Console のエッジ一覧（ `<ベース URL>/admin/edges` ）を開きます。
2. エッジの [詳細] をクリックします。
3. [削除] をクリックします。

ヒント: 複数のエッジアカウントを一括して削除する場合は、エッジ一覧画面で、対象となるエッジアカウントのチェックボックスをオンにして、画面上部にある [選択項目を削除] をクリックしてください。

06 トラブルシューティング／よくある質問

管理者ユーザーアカウントでログインできません。

ログインに使用しているユーザー名（または intdash に登録されたメールアドレス）が正しいことを確認してください。

ユーザーアカウントにメールアドレスが登録されている場合は、ログイン画面の [パスワードを忘れた場合] をクリックして、パスワードを再設定してください。メールアドレスが登録されていない場合は、他の管理者にパスワードの再発行を依頼してください。

存在するはずのユーザーやエッジが一覧に表示されません。

フィルタリングが行われていないか確認してください。詳細については ユーザーの一覧を表示する (p. 9) または エッジの一覧を表示する (p. 14) を参照してください。

07 お問い合わせ

ご不明な点、不都合などございましたら、下記の連絡先にお問い合わせください。

株式会社アプトポッド

- サポート窓口メールアドレス VM2M-support@aptpod.co.jp
- ウェブサイト https://www.aptpod.co.jp